

令和5年度 第1回 バルク関係基準分科会 議事録

I. 日時：令和6年3月6日（水）10：30～11：30

II. 開催方法：WEB開催

III. 出席者（敬称略、順不同）

主査 : 澤
委員 : 桑名、熊井、山代、立松、佐野（小出委員代理）
事務局(KHK) : 長沼、加藤（一）、小川、樋渡
オブザーバー : なし
欠席 : 藤原

IV. 配布資料

資料1 バルク関係基準分科会委員名簿
資料2 委員等倫理心得
資料3 バルク関係基準の見直しについて
資料4 LP ガスバルク充填作業基準（KHKS 0744）の見直しについて
資料5 LP ガスバルク充填作業基準（KHKS 0744）（案）
参考資料1 技術基準作成基本方針
参考資料2 技術基準整備3ヶ年計画（2023年度～2025年度）

V. 議事

1. 委員紹介等

事務局が、資料1に基づき委員の紹介を行い、出席委員は委員代理者を含めて6名であることを報告し、規格委員会規程第14条第1項で定める分科会の定足数（委員代理者を含む分科会委員の数の過半数（4名））を満たしていることを報告した。その後、配布資料の確認を行った。

2. 委員等倫理心得について

事務局が、資料2に基づき委員等倫理心得について説明を行った。

3. バルク関係基準の見直しについて

事務局が、資料3～資料5及び参考資料1を用いて、バルク関係基準分科会の説明及びLP ガスバルク充填作業基準（KHKS 0744）の見直しについて説明を行った。

説明後、以下の意見交換等が行われた後に、⑤及び⑦について改めて事務局で確認し、次回の分科会で検討することとなった。

- ① 液化石油ガス販売事業者をLPガス販売事業者に変えた理由は何か。
→ 規格内で液化石油ガスをLPガスという記載に統一するためである。

- ② p. 5 の「バルク供給及び充てん設備に関する技術上の基準等の細目を定める告示」は他の法令と異なり略称は作成しないのか。
→ 記載されている箇所が p. 5 の 1 箇所のみであるため、略称を作成しても使用する箇所がないことから、略称は作成しない。
- ③ p. 8 注9)の充填ホースの内部の圧力の単位について、0 MPa から 0 Pa に変更となっている。他方、図 2 では MPa のままとされているが、図は変更するのか。
→ 0 MPa から 0 Pa の記載の変更は、法令の記載に合わせたものであり、注9)中の意味を変えるつもりでの変更ではない。図については MPa 表記の方が視認性が良いことから現状のままとする予定である。
- ④ p. 9 2. 1. 1. 6 a) と b) について、実際は b) → a) の順番で作業すると思うがどうか。
→ 全ての作業手順について認識しているわけではないので、a) → b) の可能性があることや、文章の構成等もあり、今回はこのままとしたい。
- ⑤ p. 13 図 4～図 7 は、注 12) の例として記載されているものであり、充填作業後に常時開状態とすることで液封状態とならないようにするものの例である。そのため、開状態の写真である方が適切と思うが、図に使用されている単品の写真と設置時の写真のうち、設置時の写真は全て閉状態となっている。可能であれば開状態に変えたほうが良いと思うがどうか。
→確認する。
- ⑥ p. 14 注 14) の上付き文字について、他と異なり句点の外側だと思うがどうか。
→ 指摘の通り句点の内側に修正する。
- ⑦ p. 15 2. 1. 3. 5 は 2. 1. 3. 1～2. 1. 3. 4 までの安全確認等以外の内容としてまとめられている箇所だが、このうち b) と c) は 2. 1. 3. 1～2. 1. 3. 4 までの間に出てくる内容であるため、記載は不要ではないか。
また、a) ～h) まで作業が供給設備、充填設備で入り組んでいて文章を見た人が分かりにくいのではないか。
→確認する。
- ⑧ p. 37 参考資料の e) 事故概要にて、当該事故が充填設備に係る唯一の事故と記載されているが、現状も同様なのか。
→ 掲載情報を変更しないことを主眼としたため、記載に変更を加えていない。なお、現状も唯一の事故なのかは確認しないと分からない。

4. その他

議事録案については別途メールにて送付され、確認後、採決されることが確認された。

また、次回分科会については 4 月上旬を予定しており、日程調整については別途行われることが確認された。

以上